

# 江東・自由を守る会 会報

江東区議会議員

さんのへあや

2023年前期活動報告

ごあいさつ

日頃より江東区政に関心をお寄せ頂き有難う御座います。当選以降「不公平・不平等に立ち向かう」信念を貫き、無所属議員としてしげみなく日々活動しております。本会報では2023年前期の主な活動を報告させていただきます。

令和5年第1号通巻8号  
発行：江東・自由を守る会  
発行責任者：さんのへあや  
連絡先：aya.sannohe@gmail.com

## 不正、税金の無駄使い、悪習を断つ!! 議会改革特集



ついに  
実現!

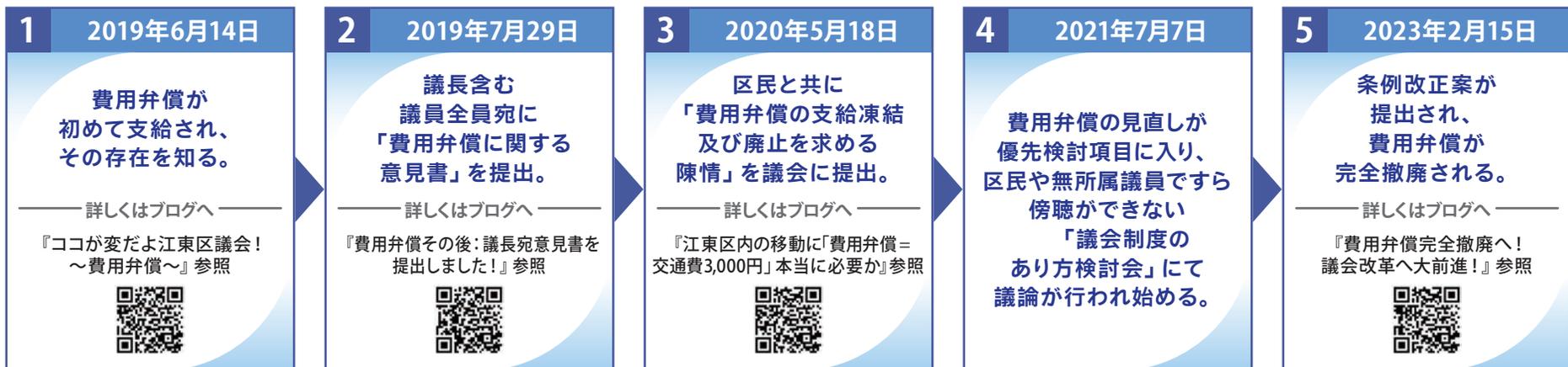
議員への高すぎるお小遣い!?

区議会議員に支払われていた  
1日3,000円の費用弁償※、  
完全撤廃へ

※費用弁償とは……区議が議会、委員会などに出席したときに支給される旅費のこと。領収書は不要で、報酬とは別に支給される

私が2019年に当選した直後から支給停止を求め続けてきた費用弁償の廃止が、令和5年2月15日の本会議にて可決されました。江東区内から江東区役所まで、都バスなどの公共交通機関を利用すれば往復数百円で移動できます。私は「議員が厚遇や特権を甘受し、自ら公金のムダ遣いを行っているのは、有権者の政治への信頼回復は望めない」という信念のもと、費用弁償の廃止を求めて戦い続けると同時に、支給された費用弁償は江東区外へ全額寄付して参りました。

### 費用弁償の廃止に至るまでの道のり



## 費用弁償の廃止により年間約550万円の税金支出削減が実現しました!

(費用弁償決算額:令和元年度5,110,500円、令和2年度5,512,500円、令和3年度5,401,500円)

### ココが変だよ江東区議会! 費用弁償廃止でも 陳情は不採択!?

2020年に提出した「費用弁償の支給凍結及び廃止を求める陳情」の願意に沿う内容で費用弁償の廃止が可決されたにも関わらず、この陳情は採択されず継続審査(事実上の不採択)となりました。「区民に指摘されたから廃止した」のではなく「議会自らが変えた」というアピールの様に受け止められません。誰が賛成・反対しているのか分からないブラックボックスの中で審議するのではなく、議事録が残るオープンな場で江東区民の為に議論して、初めて議会の意志で変えたと主張すべきです。

今後は議事録の残らない密室会議を無くし、区民に対して開かれた議会を実現して参ります。



### 独自調査で発覚! 不正癒着の証拠 「議員推薦メモ」の存在について

あっせん収賄容疑で江東区議会前議長が逮捕された事件後、新聞の報道により「複数の区議が指名業者を指定するよう職員に働きかけていた」事や、「議員名と指名業者名が記録されたデータがパソコンで管理されていた」という内容が報道されました。議員推薦メモの存在について情報開示請求を行ったところ、「メモのデータは事件で押収されている為非開示とする」旨の回答がありました。つまり、議員推薦メモは本当に存在している事が明らかとなったのです。

しかし、区議会も、行政も、過去に行われた不正の追及に後ろ向きです。不正が起こってしまったのであれば、隠すのではなく、区民へ積極的に情報を公開するべきです。

私は区民の代表として、また不正癒着の再発防止に真っ向から取り組む唯一の議員として、過去の出来事も含めて実態解明に努めて参ります。

詳しくは  
ブログへ



### 汚職防止対策等 検討会のご報告

区民と共に提出した請願書において「汚職事件に関する調査特別委員会(百条委員会)の設置」及び「構成員として無所属会派議員を認める事」を求めた結果、汚職防止対策等検討会が発足し無所属議員として唯一のメンバーになる事ができました。検討会では、逮捕・勾留されて長期欠席する議員に対しては報酬不支払とする条例改正を行うほか、長年の悲願であった政治倫理条例の制定について、時期検討事項とする事が協議されました。この知識と経験を活かして来期も引き続き不正防止に取り組んで参ります。





2023年2月に行われた予算審査特別委員会にて質疑した内容の中から、税金の無駄遣い・不正を無くし、福祉・子育て支援の財源を確保する“二刀流の取り組み”により実現できた施策および要望事項を抜粋して紹介します。

## 子育て・保育施策

### 実現! 所得制限なしの子育て支援

所得制限による区別のない子育て支援を江東区へ要望し続けた結果、令和5年度予算に所得制限なしで子ども1人あたり3万円分の電子クーポンを配布する事業が予算化されました。しかし、児童手当など継続的な支援に関して所得制限の撤廃を求めてきたことから、一時的な支援に止まった経緯や現金による支給の可否について確認。継続的な支援は財源負担が大きく実施が難しい事やブッシュ型という申請不要かつ短期間で支給できる電子クーポン方式を採用したとの回答を得ました。江東区で子どもを産み育て住み続けてもらうための定住促進という効果を持たせる為にも、今後も所得制限のない継続的な事業実施を要望しました。

### 実現! 保育士の処遇改善

保育士等の定着支援を促すために、他区の事例を参考に区独自による支援を求めて参りました。その結果、江東区として初めて「保育士の支援継続年数に応じた商品券の支給」が予算化されました。また、保育士の負担軽減と共に、保育の質を高める為に業務のICT導入率についての状況を確認しました。ICT導入が進まない保育園においては保護者への負担も懸念されることから、連絡帳のアプリ化についても積極的な導入を求める様要望しました。

### 江東区の保育料、都内で2番目に高い!?

各自治体で設定されている0~2歳までの保育料(最高額)を23区毎に比較調査した結果、令和4年度江東区の保育料は都内で杉並区に次いで2番目に高い9万1500円/月である事が判明しました。保育料の負担割合が他区と比較しても大きい様に感じられたため、この保育料の負担比率についての考え方について確認しました。担税力のある子育て世帯が区外へ出て行ってしまいう事につながりかねず、不公平感の無い様に適宜保育負担額の見直しを行う様に要望しました。

## 行財政改革

### 実現! 入札監視委員会の設置

約40分の質疑時間を使い果たしてしまい質疑ができませんでしたが、2022年9月に行われた一般質問の場において要望し検討事項となっていた入札監視委員会の設置が令和5年度に予算化されました。入札監視委員会は、区民の血税を不正から守る為に入札及び契約の運用状況等について検証を行う第三者機関として運用されます。入札監視委員会からの報告を元により厳しく不正癒着が無いかチェックして参ります。

## 福祉向上

### 区内に1つしかない!? ことばときこえの教室(通級指導学級)

ことばときこえの教室とは、言語や聴覚の事で学校生活に困らない様に専門的支援を行う通級指導学級です。利用する生徒が多いにも関わらず、江東区内では一校にのみ設置されています。通級で授業を受ける間は移動時間を含めて所属校の授業が受けられず、保護者による送迎が必要になる事から保護者の働き方にも影響が出ています。湾岸地域や城東地域にお住まいの方から通いたくても通えないという切実な声も。そこで、各地区にことばときこえの教室を設置してはどうかと要望したところ「課題について認識しており、特別支援教育検討委員会にて今後検討していく」という答弁を得ました。また、本区には弱視の児童向けの通級指導学級が無い事も指摘し、通級指導学級全体の拡充を要望しました。

### 学習支援員の専門性向上について

障がいがある児童に対する日常生活動作や学習活動上の支援を行う学習支援員が、区内幼稚園・小学校・中学校にのべ約350名が配置されています。学習支援員は会計年度任用職員となるため区の公式ホームページを通じて公募をしていますが、人材不足や専門性の向上の為にも募集先に福祉施設や大学などの連携機関を設けるべきと要望したところ、江東区として都教育委員会が発足させた公益財団法人 東京学校支援機構(TEPRO)を活用するなどして、本区で児童・生徒のために力を尽くしたいという人材の発掘等を試みると答弁がありました。

### 障害福祉サービスの所得制限

障害福祉サービスの定率負担は、国基準により所得に応じて4区分の負担上限月額が設定されています。負担の大きい区市町村税課税世帯の区分に該当する世帯数を確認したところ、利用世帯全体のおよそ30%が該当する事が判明しました。また、特別障害者手当や特別児童手当は、一定の所得制限額を超えると障害の重さを問わず一切の支給が行われません。働きたいのに所得制限によって経済的な自立が難しくなってしまうケースや、障害児の介護のために共働きが難しい上、手当を貰えず自己負担ばかりが重くのしかかっている厳しい現状が報告されています。障害者支援の多くは国制度ですが、都内自治体では所得制限を受ける世帯向けの独自支援が実施されていることから、江東区として区民の福祉サービス利用を促すためにも独自助成支援の実施を強く要望しました。



## 誰も取り残さない防災

### 防災カタログギフトの費用対効果

限りある税金をどの様に有効活用するのかという視点から、本事業が予算化に至った経緯を質疑しました。あまり周知されていませんが、江東区では江東区葛飾福祉工場を通じて申し込む27種類の防災用品を対象としたあっせん事業を既に実施しています。こうした既に実施されている事業の拡充を求めましたが「実績値が上がっておらず、カタログギフトを送付する事で区民の防災意識の向上に資すると考える」と答弁がありました。また、全世帯の約6%を占める外国人世帯へどの様に案内するのかを確認。区民の皆様様に備蓄物資を配布するだけでなく、まずは身の安全を確保するための情報をしっかりとお伝え頂き、高い税金を支出するに相応しい効果的な事業となるように要望しました。

### 実現! 音声版ハザードマップの作成

避難行動用支援者への個別計画策定と併せて、2019年より視覚障害者用のハザードマップ整備を求めて参りました。令和5年度予算では音声版(デージー版)ハザードマップ作成が十分に予算化され、質疑では「作成にあたって視覚障害者当の意見はどの様に反映されるか」等の計画について確認しました。音声版ハザードマップを作るだけでなく、江戸川区で作成されている障害者向け防災マニュアルを取り上げ、今後は障害種類別に障害に応じた対応並びに個別避難計画の作成・記入例の周知を求めました。

## 数字でわかる! さんのへ活動

2022年12月末までの委員会・議会での発言数

計 **312**  
発言内容はデータベース化し  
公式ホームページにて公開中

国・都・区に提出した要望書  
計 **14**  
うち実現度は**50%以上!**

情報開示請求した公文書枚数

計 **3,298**  
情報公開No.1!

月に1度開催するゴミ拾い活動で  
拾ったゴミの量  
計 **186kg**  
1回あたり平均約**5kg**

## さんのへ あや(三戸安弥)

江東区議会議員(現職最年少) / 江東・自由を守る会代表 / こうとうワーカーママ主宰

平成元年生まれ。豊洲に実家があり、結婚を機に東陽町に住む。2019年4月に無所属で出馬し初当選1期目。二児の母。議員活動と子育てに日々奮闘中!

【資格】社会福祉士・保育士・精神保健福祉士・防災士・剣道三段

【学歴】江戸川区立清新第三小学校卒業  
江戸川区立清新第一中学校転出  
International School Bangkok 卒業  
上智大学 総合人間学部 社会福祉学科卒業

【職歴】丸紅株式会社、江東区議会議員1期

【家族】夫・長男(5歳)・次男(1歳)

【座右の銘】Leave the world better than when you found it.  
(生まれた時より良い世界にしてこの世を去る)



日々の活動を  
下記にて配信中!



公式サイト



Twitter